

CF-LV8 / CF-QV8 / CF-SV8 / CF-SV9 シリーズ TPM ファームウェアアップデート手順書

公開日 2020/08/25

本書では、CF-LV8, CF-QV8, CF-SV8, CF-SV9 シリーズの TPM ファームウェアをアップデートする手順について説明しています。

TPM ファームウェアのアップデートは以下の流れで行います。

1. ファイルのダウンロードと展開
2. TPM ファームウェアのバージョン確認とアップデートの実行
3. TPM ファームウェアのアップデートの確認

【ご注意】

TPM ファームウェアをアップデートする際は、以下の事項をお守りください。

- ・ 本アップデートプログラムを実行する際は、必ず「**管理者**」の権限のユーザーでサインインしてください。(ユーザーの切り替え機能を使わずに管理者の権限でサインインして操作してください。)
- ・ AC アダプター、および十分に充電されたバッテリーパックを接続しておいてください。充電量が不足している場合、TPM ファームウェアのアップデート処理は実行されません。また、アップデート中に電源オフされた場合、TPM チップが破損する恐れがあります。
- ・ 万一 TPM ファームウェアアップデートに失敗した場合、システム起動やデータの使用ができなくなる恐れがあります。あらかじめデータバックアップを行ってください。
- ・ BitLocker を有効にしてご使用中の場合、念の為、有効化時に保存した BitLocker の回復キーをお手元に用意しておき、入力を求められた場合はご使用ください。(回復キー入力を求められた際に回復キーを紛失されているとシステムを起動できなくなります。)

また、TPM ファームウェアアップデートを BitLocker 有効化直後に実行することは避けてください。(有効化直後は暗号化処理が完了しておらず、有効化されていると正しく認識されない場合があります。完了までに必要な時間は、ディスク容量やディスク使用量によって変動しますが、目安として30分程度お待ちください)

- ・ (BitLocker およびサインイン時の PIN 以外に TPM を使用するソフトウェアがある場合) TPM ファームウェアアップデート前後に必要な処理がある可能性がありますので、そのソフトウェアのサポート窓口に対応方法をご確認ください。
- ・ ネットワークに接続している場合は切断しておいてください。(アップデートプログラムのダウンロード時を除く。)

- ・ LAN ケーブルは外してください。(アップデートプログラムのダウンロード時を除く。)
- ・ USB 機器等の周辺機器はすべて外してください。
- ・ アップデートプログラム以外のアプリケーションソフトはすべて終了してください。

1. ファイルのダウンロードと展開

ダウンロードページに掲載されている下記のプログラムをダウンロードした後、対象機種
の Windows 上で実行し、作業用フォルダーにファイルを展開します。

STMicroTPM_74_64.exe

- (1) ダウンロードしたプログラムをダブルクリックして実行します。
- (2) 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、[はい(Y)]をクリックします。
- (3) 使用許諾契約の画面が表示されますので、内容をよくお読みいただき、[はい(Y)]をクリックしてください。
- (4) 展開先フォルダーを設定する画面が表示されます。作業用フォルダーは、プログラムが自動的に作成しますので、特に変更する必要はありません。(変更する場合は、必ず、本体の内蔵ディスク上のフォルダーを指定してください)
展開先フォルダーは標準では「c:\util2\drivers\STMicroTPM_d2020xxxx」(xxxx は数字)が設定されています。
[OK]をクリックしてください。



しばらくすると展開が完了し、展開されたフォルダーが開きます。(展開が完了するには約1分かかります)

以降の手順では、このフォルダー(標準では c:\util2\drivers\SynTP_d2020xxxx)をエクスプローラで開き、中のバッチファイル(注)を使用します。

- (注) ファイルの種類が Windows バッチファイルと表示されるファイルです。拡張子付きでファイル名表示している場合は、例えば FileName.bat と表示されます。

2. TPM ファームウェアのバージョン確認とアップデートの実行

- (1) バッチファイル TFInst のアイコンを右クリックし、[管理者として実行]を選択します。
- (2) 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい(Y)]をクリックします。
(以降の、他のバッチファイルの場合も同様です)
- (3) システムの状態に応じて処理が実行されます。

まず TPM ベンダーとファームウェアバージョンが表示されます。
対象の TPM ベンダーでない場合、あるいはバージョンが 74.64.17568.6659 以上の場合はアップデートの必要はありません。アップデート手順は以上で完了です。

次に BitLocker の状態がチェックされ、有効になっている場合は”保護の中断”が設定されます。

最後に、TPM ファームウェアアップデートの準備が実行されます。

何かキーを押して、コマンドプロンプト画面を閉じます。

- (4) バッチファイル PCReboot のアイコンをダブルクリックし、パソコンを再起動します。
- (5) パソコン起動時に自動的に TPM ファームウェアアップデートが実行されます。
約 30 秒でアップデートが完了し、Windows が起動します。

3. TPM ファームウェアのアップデートの確認

- (1) 2. と同様の手順で TPM ファームウェアのバージョンを表示します。
- (2) ファームウェアバージョンが、以下のバージョンとなっていることを確認してください。
74.64.17568.6659

(バッテリーパックの充電量が不足していた場合、前項(5)でファームウェアは更新されず、前項(3)が再度実行されます。その場合は、バッテリーを十分に充電してからバッチファイル PCReboot のアイコンをダブルクリックし、再度パソコンを再起動してから、本項(1)を実行してください)

以上で、TPM ファームウェアアップデート手順は完了です。